

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ加治木		公表日 令和 8年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・お子さまの特性に合わせて必要な部分の整備や構造化を行っていきます。安全に十分に配慮して支援を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・待合スペースがあり、雑誌やドリンクなど保護者の方がリラックスして過ごせるような環境作りに努めています。	・今後も、日々の清掃業務や消毒など徹底して実施していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の部屋があり、お子さま一人ひとりに合わせて部屋を選ぶことができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・必要に応じてケア会議を実施したり、業務量や業務内容を児発管と相談しながら実施するよう努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートの実施や、相談の時間の確保に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・意見を出しやすい環境に努めており、すぐ改善へと繋がるよう工夫しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者からの評価を頂く機会がないため、今後充実に図ってまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・業務時間内に研修を受けるなど、体制として確保されています。	・今後も、よりよい研修機会を設けていきます。また、個人で勉強したい分野などにも積極的に研修受講機会が持てるように努めてまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・お子さまの様子を支援プログラムやアセスメントシートを基に分析しています。また、保護者の方からの聞き取りも毎月の事業所内相談の中で細かく実施しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・現場スタッフ個人が意見を言える雰囲気であるため、チームとして検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・毎日朝礼や終礼を実施し、フィードバックする時間を設けています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・お子さま一人ひとりに合う教材を準備しています。また、選択遊びや小集団活動など週ごとに変えるように実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			・お子さまの発達や特性、目標に合わせて支援内容を考えています。また、好きなことなど強みを生かした支援を実施できるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・毎日朝礼、終礼を実施しています。終礼などの情報共有の場に不在のスタッフにも連絡ツールを活用して情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・記録と合わせて、担当スタッフに口頭で伝えたり、終礼で連絡したりするなど情報共有に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			・定期的にモニタリングを行い、お子さま一人ひとりの現状に合うよう検討を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			・責任者または担当者が参加するように努め、難しい場合は事前に情報共有を行ってから代理スタッフが参加したりするなど工夫しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・必要な場合には連携を図ってます。	・障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携は、お互い協力して取り組めるような関係作りや積極的にアプローチしていくよう努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・移行支援シートの作成を行っています。また、保護者の方の要望があれば学校見学や就学相談にも同行しています。就学先とは、担当者会議などを通じた情報共有に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						

		(31は、事業所のみ回答)			・困ったときに電話で助言をいただくなど、連携を図っています。	・今後、活用場面などをスタッフへ周知し、連携を強めることに努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・保育所等との交流は現在実施できていないため、可能な範囲で検討を行います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・家族支援や子育てサポート、事業所の連絡帳などを活用して情報共有に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアトレを定期的に開催しています。	・仕事を抱えている親御さんには参加しにくい時間帯なので、今後開催日時の検討をしていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学時、契約時に説明を行っています。また変更時、都度説明を行うようにしています。	・初めに説明する事が多く、忘れてしまわれる方もいるので、いつでも手にとれる棚に掲示しているが、周知できていない方が多いため検討していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・家族や本人の意向をしっかりと聞き取るよう努めています。	・幼児期のお子さまなど、意思を伝えることが難しいお子さまに関しては、保護者の方の意思やお子さまがどのように考えているか一緒に検討しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者に対して対面で説明を行い、ご意向を確認しています。必要に応じて、修正を行い保護者のご意向が反映された計画を作成し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・そらまめノートという連絡帳ツールの活用や送迎していただいた際に直接お話しをお伺いしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・必要に応じて保護者同士が話せる機会を設けています。ペアレントトレーニングの機会などを活用しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・家族支援として事業所内相談を実施しています。その中で相談や申入れがあった際には、迅速に対応できるよう努めています。	・今後も、保護者からの申し入れ等に迅速に対応できるよう努めるとともに、必要に応じて管理職に相談するなど、よりよい対応ができるように努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・InstagramやTikiTokなどを活用して情報発信に努めています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・毎年度はじめ、そらまめシートを活用し、個人情報の取り扱いについて周知、保護者のご意向を確認しています。また、発信する際は、個人名を隠してあるかWチェックを行い配慮しています。	・今後も、個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・無料講演会や体験会等を開催したり、地域のお祭りなどにも出展させていただきながら、地域の方との交流の場を設けています。	・地域の方に向けた事業所でのミニ講演会やイベントなどより身近で参加しやすいイベントも開催していく予定です。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP作成を策定しています。また、様々な事態を想定して避難訓練を定期的に実施しています。	・事業所近くの避難場所や避難経路をスタッフ全員で確認、周知できるように定期的に機会を設けてまいります。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・毎年度はじめにそらまめシートの記入を依頼して、確認を行っています。	・年度途中で新たな情報が保護者より共有された際に、終礼等で共有は行っているが、そらまめシートに追記するなど、共有方法を検討していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・毎年度はじめに、そらまめシートの記入を依頼してアレルギーの把握を行っています。また、食材を提供する際は、その都度保護者に確認を行っています。	・食材提供をする際は、そらまめの食材提供ルールを基に実施していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・必要な措置を行っていることを保護者の方に周知できるよう検討してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・Googleフォーム等を活用し、全スタッフで共有できるようにしている。またリスクマップ等の作成を行い、統一認識をはかっている研修を実施しています。	・インシデント・アクシデント報告は多いが、ヒヤリハット報告が少ないため、今後研修を実施予定です。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年に2回研修を実施し、適切な対応を学ぶ機会を設けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束について定期的に研修を実施し、適切な対応を学ぶ機会を設けています。必要な状況においては保護者の方へ同意書を得たり、計画書への記載したりするなど全事業所で共通理解しています。	・研修で学んだことを必要な時にすぐ振り返り現場で活かせるよう、資料を保管するなど徹底して実施してまいります。